

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 1 一人ひとりを大切にする温かな学級経営を実践する。
- 2 学ぶ力をつける授業を創造する。
- 3 家庭と連携しつつ、基礎基本の定着を図る。

＜本年度の学力向上策＞

授業規律・規範の確立

「よい授業」における「授業マネジメント」を徹底し、学習意欲の向上を図る。

- ノートの規格や取り方を校内で統一し、算数や「自主学習」のノートの「検定」を行う。
- 少人数指導担当教員やSAなど、全職員が連携して共通の指導を進める。
- 「ほめて伸ばす」を基本に子どもの良さを認め、誰もが居場所のある学級作りを進める。
- 異年齢集団による活動を積極的に取り入れ、温かい人間関係を醸成するとともに、多様な学びの機会を設定する。

「言語活動」の充実

国語科を中心に、「言語活動」を充実させるよう授業改善を進める。

- 学校課題研究として「言語活動」を充実させる研究を行う。
(学習活動の工夫、ワークシートおよびモデル文の活用、「学び合い」活動の導入など)
- 授業研究会を通して、効果的な指導方法等を校内で共有する。
- 児童が本に親しむ機会（「読み聞かせ」「読書タイム」）をつくり、読書活動を促進する。
- G・Sや特別な教科道徳の確実な実施と、教材・教具の開発を進める。

家庭学習の習慣化

家庭との連携を進め、発達段階に応じた学習時間を確保する。

- 校内で統一した宿題（音読、短作文など）を出すことにより、学習の習慣化を図る。
- 「家庭学習の手引き」などにより、家庭への啓発を進める。
- 保護者や地域人材の活用を促進し、教育課程に位置付けていく。

＜本年度の振り返り＞